

SNW 対話イン北九州高専 2021 事後アンケート結果

□ 学生の性別、専攻と希望進路(アンケート総数 30)

区分		人数
専攻	工学	4
	生産デザイン	5
	機械	2
	ロボット	2
	電気	6
	制御	1
	通信	1
	情報	1
	情報システム	1
	化学	3
	物質化学	1
	生物	1
	未記入	2
希望進	就職	21
	進学	8
	未定	1
人数計		30

(1) 講演の内容は満足のものでしたか？その理由は？

区分	人数
(A)とても満足	20
(B)ある程度満足	10
(C)やや不満	
(D)大いに不満	
計	30

理由

A・知らなかった知識を得ることができた

- ・前提となる知識の説明があったため分かり易かった
- ・内容はとてもためになったが、少し文字が多く頭に入り難い
- ・物事の視野が広がった
- ・実際に原子力に関わる仕事に従事されている方の意見を聞くことができ、本質を理解することができた

- ・今までの講義で聞いたことのない話が多く新鮮だった。例)アンモニア発電
- ・専門家から深い話をしていただいた
- ・理由未記入(13名)

B・例え話がとても分かり易かった

- ・詳しい内容について学べた
- ・脱炭素社会に向けた世界の動向を知ることができた
- ・事前の講演から+αの知識を得ることができた
- ・火力発電のCO2排出量を削減する方法があることを知ることができた
- ・理由未記入(5名)

(2) 対話の内容は満足のいくものでしたか？その理由は？

区分	人数
(A)とても満足	25
(B)ある程度満足	4
(C)やや不満	1
(D)大いに不満	
計	30

理由

A・シニアの実務経験に基づく貴重な回答をいただいた

- ・疑問に思ったことを素直に聞くことができた
- ・質問に詳しく答えてくれた
- ・質問の答えが分かり易く具体的であった
- ・対話自体は非常に満足のいくものだった。しかし発表のために常にメモに気を取られながら対話することになった。メモの取り方が悪かったかもしれない
- ・新しい知見が得られた
- ・事前質問を、より深く議論することができた
- ・こちらから質問をして答えていただくという形だったので、能動的に学習することができた
- ・質問に対してとても丁寧に答えていただいた
- ・ずっと疑問に思っていたことを答えていただいた
- ・理由未記入(15名)

B・疑問に思ったことを聞くことができた

- ・なかなかできない政治の話を交えて対話できた
- ・理由未記入(2名)

C・原発を容認する方向に誘導されている感が否めない

(3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？

区分	人数
(A) 十分聞くことができた	21
(B) ある程度聞けた	8
(C) あまり聞けなかった	1
(D) 全く聞けなかった	
計	30

(4) 今回の対話で得られたことは何ですか？(該当するものに○を記入、複数可)

区分	件数
(A) 新しい知見が得られた	26
(B) マスコミ情報と対話会情報の違い	15
(C) 自分の将来の進路の参考	4
(D) 教育指導の参考	1
(E) 新しい知見は得られなかった	
(F) その他	
未記入	1
計	47

- (A) 新しい知見が得られた
- (B) マスコミ情報と今回の対話会情報に違いがあった
- (C) 自分の将来の進路の参考になった
- (D) 教育指導の参考になった
- (E) 特に新しい知見は得られなかった
- (F) その他(具体例)

(5) 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？その理由は？

区分	人数
(A) 非常にある	26
(B) ややある	3
(C) あまりない	
(D) 全くない	
(E) どちらとも言えない	1
計	30

理由

A・生きていた世代が違うので、感じ方や考え方がとても参考になる

- ・原子力について専門家の人々の話を聞ける
- ・実際体験して学んだことが多い
- ・原子力やエネルギー問題について新たな知見を得ることができる
- ・新しい知識を身につけることができる
- ・頭の柔らかい学生のうちに様々なところから情報を得ることに繋がる
- ・専門家の知見を得られる機会は重要
- ・学生にとって、その分野の本質を知ることは、教科書や参考書では学習できない。対話会であることのメリットである
- ・経験や知識を次世代に継承する必要がある
- ・理由未記入(15名)

B・理由未記入(3名)

E・どちらとも言えない

(6) 今後、機会があれば友達や後輩に対話会への参加を勧めたいと思いますか？

区分	人数
(A)勧めたいと思う	19
(B)勧めたいとは思わない	
(C)どちらとも言えない	9
(D)その他	1
未記入	1
計	30

その他:相手に興味があるなら勧める

放射線、放射能に対して伺います。(該当するものに○を記入、複数可)

区分	人数
(A)やはり怖い	5
(B)恐れる必要はない	16
(C)理解できた	12
(D)生活に有用	5
計	38

(A)放射線、放射能はやはり怖い

(B)一定のレベルまでは恐れる必要はないと以前から知っていた

(C)一定のレベルまでは恐れる必要がないことを講演、対話から理解できた

(D)放射線、放射能は生活に有用であることを前から知っていた

□ 原子力発電に対して伺います。(該当するものに○を記入、複数可)

第6次エネルギー基本計画では、原子力については、安全性の確保を大前提に必要な規模を持続的に活用していくとしつつ、可能な限り原発依存度を低減するとしています。本日の対話も踏まえあなたの認識は次のどれですか？その理由は？

区分	人数
(A)強く認識／削減・撤退すべきでない	17
(B)原発必要の認識は変わらない	10
(C)原発を早期に削減・撤退すべき	
(D)原発停止・再エネ拡大	2
(E)分からない	1
計	30

(A)原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない

(B)原子力発電の必要性は分かっていたので、対話の前後で認識は変わらなかった

(C)原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤退すべきだ

(D)原子力発電を止め、再生可能エネルギーを最大限使えばよい

(E)どうすればよいかよく分からない

理由

A・原子力を利用しなくてはCNを踏まえた上で安定的な電気の供給ができない

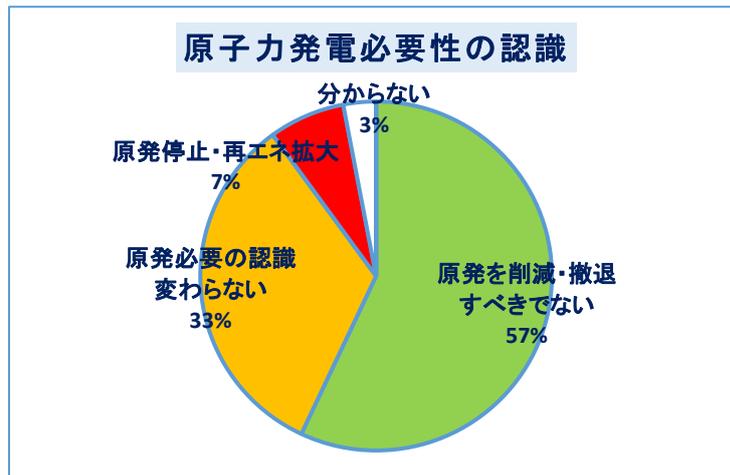
- ・原子力の安全性が講義の中でよく学べた
- ・日本のエネルギー資源を絶やさないためには原子力発電は欠かせない
- ・CO2を排出しない
- ・カーボンニュートラルに向けては必要な発電方法である
- ・安全性は技術で解決できる
- ・必要だから
- ・原子力発電がエネルギー問題の観点から日本に必要である
- ・今後のエネルギーミックスを考えたとき、原子力発電の力は不可欠
- ・これからのエネルギー社会において、環境問題の点からも原子力は必要
- ・理由未記入(9名)

B・原子力発電の必要性について、より具体的な理由づけを行って理解することができた

- ・原子力を必要とするのは仕方のないことだと考えていた
- ・理由未記入(7名)

D・火力発電にCO2削減の工夫を施してメインにすれば、原発の必要性はない

未記入(1名)



□ 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

区分	人数
自由記述	15
未記入	15
計	30

自由記述

- ・原子力発電に対してのイメージが変わったのですごく良かった
- ・今まで原子力について知る機会が少なく、今回初めて知ることも多かった。原子力について自ら学ぶことが重要であり、それらが私達の将来を左右することが分かった
- ・発表を考えず、時間に追われることもない自由な対話時間が欲しい
- ・原発は必要だが、安全に対する最大の配慮は必要
- ・シニアネットワークの方々との対話は非常に新鮮だった
- ・とてもためになった
- ・メディアの偏向報道がひどい
- ・祝日にするのはあまり嬉しくない
- ・とても良い経験になった。どんな風に進めていくのか直前まで決まっていなかった。どうするのが良いのか知りたかった
- ・非常に有益な時間を過ごさせていただいた
- ・発表スライド作成の時間がもう少し欲しい
- ・CN や今最も熱い再エネについて知ることができ非常に有意義な時間となった
- ・新しい知見を得られて楽しかった
- ・原発推進ありきで企画が設計されており中立性がない
- ・新しい知識を得ることができた
- ・未記入(15名)

□ 最後に、カーボンニュートラル(脱炭素)に対して伺います。(該当するものに○を記入、複数可)

温暖化対策や脱炭素社会実現などについてメディア報道が毎日のように流れております。脱炭素についてのあなた自身の意識変化についてお聞きします。

(1) 地球温暖化や脱炭素社会について関心や興味がありますか？(該当するものに○を記入)

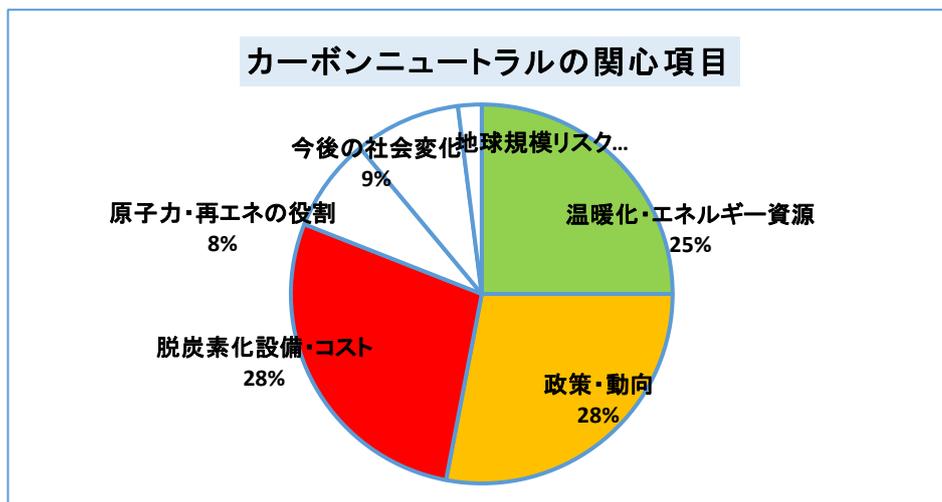
区分	人数
(A)大いにある	13
(B)少しはある	15
(C)あまりない	1
(D)ない	1
計	30

(2) 友人同士で温暖化や脱炭素社会を話題にしますか？(該当するものに○を記入)

区分	人数
(A)大いに話す	2
(B)あまり話さない	17
(C)ほとんど話さない	11
計	30

(3) 興味や関心にあるのはどの項目でしょうか？(該当するものに○を記入、複数可)

区分	件数
(A)温暖化のメカニズム	6
(B)温暖化の影響と対策	11
(C)主要国の動向	9
(D)エネルギー資源の確保	12
(E)我が国の環境・エネルギー政策全般	13
(F)脱炭素化実現のためのコスト	7
(G)脱炭素化の手段、方法論、道筋	8
(H)脱炭素化の技術開発、イノベーション	18
(I)地球規模リスクの管理手法	2
(J)脱炭素化での日本、世界の産業界動向	10
(K)これからの社会変化全般	10
(L)原子力発電所や再生エネルギーの役割	9
(M)その他	
計	115



(4) 温暖化対策や脱炭素社会実現の動向はあなた自身の生活や進路選択に影響をもたらしていますか？(該当するものに○を記入、複数可)

区分	件数
(A) 企業姿勢を進路に考慮	14
(B) 進路とは切り離し	10
(C) 生活態度が変わった	7
(D) 生活態度に変化はない	7
計	38

- (A) 進路を考える上で企業の姿勢などを考慮。
- (B) 進路とは切り離している。
- (C) 普段の生活態度が少しは変わった。
- (D) 生活態度に変化はない。

(5) 日本の 2050 年脱炭素社会の実現可能性について見解をお尋ねします。(該当するものに○を記入)

区分	人数
(A) 実現するとは思えない	19
(B) 相当いいところまで到達する	4
(C) 分からない	6
未記入	1
計	30

(6) 地球温暖化対策のための脱炭素達成には、これからのエネルギー(化石燃料、再エネ、原子力)の選択が大変重要です。あなたはこのことを知っていますか。

区分	件数
(A) 十分知っている	10
(B) 多少知っている	14
(C) 知らない	1
(D) 勉強してもっと知りたい	5
(E) その他	1
計	31

E・知っているが原子力を含める必要性を全く感じない

以上